

オープンコンピュートプロジェクトジャパン  
(Open Compute Project Japan)  
設立趣意書

データセンターの需要はクラウドコンピューティングの広がりにより、今後さらなる拡大、大型化の傾向にあります。そのデータセンターには、社会インフラとして、その処理性能を高めると同時に、電力消費量の低減等、環境対策が求められています。そのため、高効率を実現するデータセンターファシリティの要素(サーバ、空調、電力等)のシステム仕様を検証し、そのナレッジのオープンモデル化、共有モデルを実現する必要があると考えます。

2011年4月にFacebook社が提唱したOpen Compute Project (OCP) は、スケーラブルなコンピューティングにとって、最も効率の良いサーバー/ストレージ/データセンターなどのハードウェアを設計し、また、提供していくための、エンジニアのコミュニティです。OCP コミュニティは、アイデアやスペックなどの知的財産を共有することが、スケーラブルなコンピューティング・スペースにおけるイノベーションを最大限に高め、運用における複雑さを低減するうえで、最も重要なことだと確信しています。そして、Open Compute Project Foundation は、個人および組織と Open Compute Project の間で、それらの知的財産を共有するための仕組みを提供します。

そこでOCPの活動に賛同し、日本市場に向けてOCPの存在と意義を広報し、OCPに対してコントリビューションを行うためにOpen Compute Project Japan (OCPJ) を設立することにいたしました。

OCPJ の活動により、最新のデータセンター構築のための知的財産共有を図り、エンドユーザーを含む企業のシステム構築・運用の最適化に貢献したいと考えています。

2013年1月17日

(発起人一同)

クラウド・ビジネス・アライアンス 藤田 龍太郎

Agile\_Cat 鵜澤幹夫

株式会社データホテル 伊勢 幸一

一般社団法人クラウド利用促進機構 荒井康宏

北海道大学 情報基盤センター 棟朝 雅晴